

今回は職場生活に活かす 7 つの常識「セブンアクト」を 7 回に分けて紹介にします

セブンアクトとは…職場生活の“グレートセオリー”と呼ばれます。

7. 物の整理は心の整理、感謝を込めて後始末。

後始末には、単に物や環境をもとの状態に戻すというのみならず、それは感謝の表現であり、次の働きのスタートともなる。つまり、心の区切りをつけて、そのつど100%の力発揮する重要な生活実践である。

その人の使っている道具を見れば、その人格がわかるといいます。自分の今ある生活を愛し、仕事を愛する人ならば、パートナーである道具・機器などを粗末に扱うはずがありません。必要な物は常に使用しやすい所定の場所に置き、しかも清潔にしておく。やりっ放しや汚れに無頓着な人間が集まって、高いレベルの製品やサービスが提供できるでしょうか。業務上の後始末も大切です。「報告」こそが業務の整理であり、次のステップへの始まりです。指示・命令を受けた仕事は、その結果を遅延なく上司や担当者に報告する。「速やかに報告」「結論から報告」「事実のみを報告」「簡潔に報告」の4点を特に意識してみましょう。

「実行すればこれが身につく」

1. 堅実さ

2. 前向き姿勢

1) 仕事を愛している人は何を粗末にしませんか？

()

2) 業務上の後始末の「報告」で意識する4つは何ですか？

() () () ()

3) 実行すると何が身につきますか？

() ()